JA北海道厚生連　旭川厚生病院

令和５年度 卒後臨床研修プログラム

JA北海道厚生連　旭川厚生病院臨床研修委員会

HOKKAIDO

P.W.F.A.C

ASAHIKAWA KOSEI

General Hospital

目次 CONTENTS

1 病院情報
2 ご挨拶
3 プログラム概要
4 処遇
5 教育研修
6 応募要領
7 研修医の活躍
8 専門医・認定医施設認定一覧
9 協力病院・施設一覧
10 お問い合せ

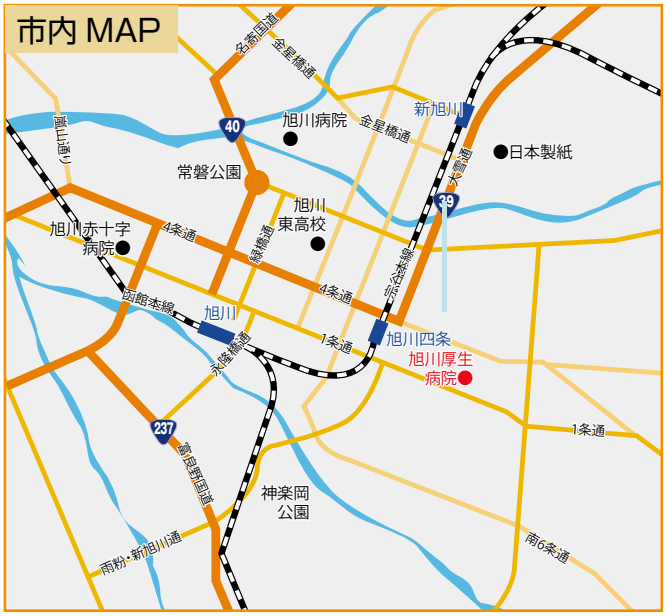
旭川厚生病院

〒078-8211
旭川市1条通24丁目111番地3　TEL(0166)33-7171　院長　森　達也

特色 SPECIAL FEATURE

1. 基幹型臨床研修病院
2. 地域がん診療連携拠点病院
3. 小児救急医療拠点病院
4. 総合周産期母子医療センター(認定)
5. 地域医療支援病院
6. 日本医療機能評価機構認定病院

病床数	539床	医師数	106名
診療科目 23科	●血液・腫瘍内科●代謝・内分泌内科 ●消化器科●循環器科●外科 ●乳腺外科●呼吸器科●呼吸器外科 ●整形外科●小児科●神経内科 ●産婦人科●皮膚科●形成外科 ●泌尿器科●眼科●耳鼻咽喉科 ●精神科●放射線科●麻酔科 ●緩和ケア科●リハビリテーション科 ●病理診断科		
指導医数	49名		
研修医	●1年次:6名 ●2年次:6名		



ご挨拶

臨床研修センター長から一言

臨床研修センター長
(副院長(兼)周産期母子医療センター長(兼)臨床研修センター長)

白井　勝

卒後の医師として最初の２年間は、肉体的、精神的に最も柔軟性を持った貴重な時期です。この期間に多くの経験をして、それをどれだけ自らの知識と技術に変換し蓄積できるかが、将来の医師生活に関わってきます。旭川厚生病院における研修制度では、周産期医療から小児救急医療、そして成人期の急性期および慢性期の多くの疾患を対象とした幅広い医療、特に地域がん診療連携拠点病院としての役割を担うための専門的医療、さらには緩和医療に至るまでの多くの診療を経験し学べるチャンスがあります。当院のプログラムを見て共に働くことを是非ご検討ください。

熱血指導医から一言

プログラム管理責任者
(血液・腫瘍内科主任部長)

佐藤　一也

当院は、地域がん診療拠点病院、小児救急医療拠点病院、そして総合周産期母子医療センターに認定されており、日常的に遭遇するいわゆる「common disease」から各科の専門的疾患まで幅広く研修できるのが特色です。

また指導医による各種セミナーや、研修医のプレゼン能力を鍛える定例報告会、さらには道内外厚生連で企画し、研修医が主役となるワークショップや全国大会(学会含む)など、研修終了後にもすぐに役立つ当院独自の研修と交流の場が提供されます。

各科の個性的で熱い指導医が皆様をお待ちしております。

プログラム概要

	1週～4週	5週～8週	9週～12週	13週～16週	17週～20週	21週～24週	25週～28週	29週～32週	33週～36週	37週～40週	41週～44週	45週～48週	49週～52週
1年次	外科		麻酔科	救急(麻酔科)	救急(小児科)	救急(外科)	呼吸器科		循環器科		代謝・内分泌科		小児科
2年次	精神科	産婦人科	地域医療	選択科目									

※個人の要望に沿って個別に設定します

1年次	必修科目	内科24週	内科5科(血液・腫瘍内科、代謝・内分泌内科、呼吸器科、消化器科、循環器科)から2科を12週ずつ、あるいは、3科を8週ずつ選択する。週に0.5日程度の一般外来研修を行う。
		外科8週	手術の術前術後管理の実際
		救急(麻酔)4週	血管確保や気道確保の基本手技及び救急薬剤の使用法
		救急(選択)8週	小児科・外科・整形外科より2科を4週ずつ、あるいは1科を8週選択し、それぞれの科の救急疾患についての診断から治療の実際を学ぶ。
		小児科4週	各年齢の特徴の理解とそれに基づく病歴、医学的所見の取り方から鑑別診断、適切な検査の選択、手技などを学ぶ。週に0.5日程度の一般外来研修を行う。
	病院で定めた必修科目	麻酔科4週	麻酔管理、人工呼吸管理法や血液浄化法を学ぶ。
2年次	必修科目	地域医療4週	厚生連へき地病院及び、市内医療機関にて、一般外来研修を平行して行う。
		産婦人科4週	正常分娩、緊急帝王切開、産科救急疾患及び婦人科疾患
		精神科4週	旭川圭泉会病院、あるいは市立旭川病院にて研修
	自由選択科目	40週	血液・腫瘍内科、代謝・内分泌内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科(乳腺外科含む)、呼吸器外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科、放射線科、緩和ケア科、健康管理科、地域医療科、病理診断科、脳神経外科(旭川赤十字病院にて研修)、神経内科、(旭川医療センターにて研修)、救急科(帯広厚生病院、旭川赤十字病院にて研修)保健・医療行政(北海道療育園にて研修)

処　遇　TREATMENT

勤務形態	常勤嘱託医師	勤務形態	8:30～17:00
研修医手当	1年次　月額　500,000円　2年次　月額　530,000円		
その他手当	住宅手当、当直手当、通勤手当(時間外手当は研修医手当に含まれる)		
休　暇	週休2日制、年末年始休暇(12/30～1/3)、年次有給休暇		
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、病院賠償、勤務医賠償責任保険へ加入		

教育研修　EDUCATIONAL TRAINING

学会への参加	道外：申請に基づき臨床研修委員長の判断により派遣を認める／ 道内：2年次研修医 3回以内 1年次研修医 2回以内
医局図書室	文献検索：医中誌Web、メディカルオンライン

応募要領　HOW TO APPLY

応募資格	令和５年3月までに大学医学部を卒業又は卒業見込みの者で、 同年3月末までに医師免許証取得見込みの者
募集人数	6名
研修可能な診療科	血液・腫瘍内科、代謝・内分泌内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、 外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、形成外科 泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科、放射線科、健康管理科、地域医療科、病理診断科、 緩和ケア科※精神科、脳神経外科、神経内科、救急科、地域医療、保健・医療行政は当院以外の施設で実施
応募手続き	臨床研修申込書(指定様式)、履歴書(写真貼)、卒業証明書又は 卒業見込み証明書、成績証明書を提出のこと
応募〆切	令和４年8月５日(金)
選考方法	書類審査、面接、マッチングプログラム方式により実施
選考日	令和４年8月15日(月)、16日(火)、17日(水)、他　(各自の選考日は追って連絡)
研修期間	令和５年4月1日～令和７年3月31日

研修医の活躍

年間スケジュール

4	臨床研修医オリエンテーション 医局歓迎会 新入職員歓迎パーティ 合同プレゼンテーション札幌 注射・採血実習 ＩＣＬＳ受講
5	各科勉強会開始 合同慰霊式 ＣＰＣ
6	新入職員接遇研修会 日当直開始（1年次研修医）
7	旭川市内病院臨床研修医スキルアップセミナー 納涼ビールパーティ
8	北海道厚生連臨床研修医ワークショップ ＣＰＣ
9	
10	日本農村医学会学術集会 北海道農村医学会
11	厚生連病院研修医全国大会 緩和ケア研修会 初雪パーティ ＣＰＣ
12	大忘年会
1	医局新年会 ＣＰＣ
3	医局送別会 臨床研修修了証授与式

臨床研修医教育講義

■各診療科、コメディカル等が持ち回りで講師を務め、年30回程度開催されます。
■病院開催の各種研修会には率先して参加をいただきます。

臨床研修医定例報告会

■学会等発表の練習も兼ねて各診療科での研修内容等をプレゼンテーションします（毎月開催）。

～年間を通して皆さんをサポートします～

研修医関連行事

講義・実習

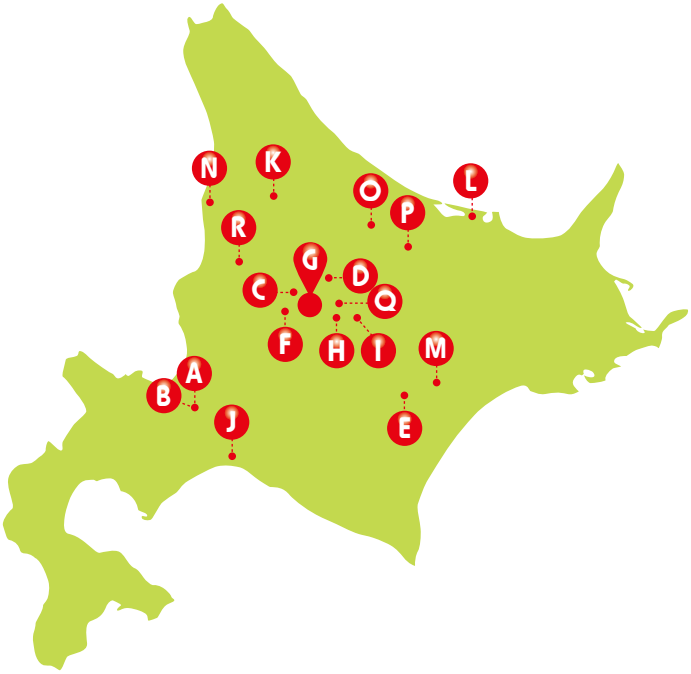
修了式

専門医・認定医施設認定一覧

- 内科専門研修プログラム旭川医科大学病院関連施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設
- 日本消化器病学会認定専門医制度認定施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設
- 日本小児科学会認定小児科専門医制度研修施設
- 日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度周産期専門(新生児)暫定認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 日本消化器外科学会専門医制度北海道大学病院関連施設
- 日本呼吸器学会認定施設旭川医科大学病院関連施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 母体保護法指定医師研修機関
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 耳鼻咽喉科専門研修プログラム旭川医科大学病院関連施設
- 日本麻酔科学会認定病院
- 日本医学放射線学会認定放射線科専門医修練機関
- 日本病理学会病理専門医制度認定施設B
- 日本消化器がん検診学会認定指導施設
- 日本血液学会認定専門研修認定施設
- 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- 日本超音波医学会認定超音波専門医研修連携施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本乳癌学会専門医制度認定施設
- 日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度周産期専門(母体・胎児)暫定認定施設
- 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設(連携施設)
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- 日本胆道学会認定指導施設
- 日本カプセル内視鏡学会認定指導施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本東洋医学会研修施設

協力病院・施設一覧

- A 北海道大学病院
- B 札幌医科大学附属病院
- C 市立旭川病院
- D 旭川医科大学病院
- E 帯広厚生病院
- F 旭川赤十字病院
- G 旭川圭泉会病院
- H 旭川医療センター
- I 北海道療育園
- J むかわ町鵡川厚生病院
- K 美深厚生病院
- L 常呂厚生病院
- M 摩周厚生病院
- N 苫前厚生クリニック
- O まるせっぷ厚生クリニック
- P ゆうゆう厚生クリニック
- Q サンビレッジクリニック
- R 町立沼田厚生クリニック



お問い合せ **[病院見学は随時受付可]**

■ 〒078-8211　旭川市1条通24丁目111番地3
■ JA北海道厚生連 旭川厚生病院 臨床研修委員会事務局
■ TEL 0166-33-7171(代表)
■ FAX 0166-33-6075
■ E-mail rinsho_kenshu@ja-hokkaidoukouseiren.or.jp
■ URL https://www.dou-kouseiren.com/rinsho/asahikawa/index.html